



日本と中国の民間レベルでの交流を推進 古くから親交のあった隣国を知り 青少年の国際理解の役に立ちたい

日本と中国の国交は、1972年に日中共同声明の調印式が行われ、正常化しました。しかし、両国はそれ以前から長い交流の歴史があり、日本の文化にも、大きな影響を与えることができます。



中国を訪問し、異文化の体験も積極的に行っています



2か月に1度、定期的に理事会を開催し、活動計画を立てています



故園田直・元外務大臣夫人で、日中友好に携わっている園田天光氏を、総会に招きました

狭山市日中友好協会は、日中の友好の和を広げ、約20年前に発足しました。当初は、手探りの状態で始まり、やがて中国を訪問したり、中国語講座を開催するなどして、市民に情報を発信してきました。その後、一年間ほど、活動を休止していた時期もありましたが、やはり隣国との交流なしに、世界との交流はありえないという多くの人の思いから、昨年の8月31日に協会を再発足させ、現在に至っています。

八島藤夫さんは、その熱意に押され、また、中国にも造詣が深かったことから、昨年からは狭山市日中友好協会の理事長を務めています。「私は、これまで、中国語や書道、篆刻をそれぞれ10年ほど学びましたが、その奥深さに大変魅了されました。しかも、日本の文化の多くが中国から入ってきたものであり、

私たちの先祖も同様に大きな影響を受けてきたことを考えると、より一層、中国の歴史や文化に興味を持つようになりまして」と、八島さんは入会のきっかけを語ります。

協会の活動は、料理教室、詩吟、カラオケ、中国への旅、講演会の開催など多岐に渡っていて、これらの活動をとおして、異文化に触れることでしか味わえない新鮮な刺激を受けることができます。

「将来は日中両国の青少年交流を実現し、隣国の同世代の若者たちが、何を考え、どんな夢を持ち、どう行動するかを見てもらい、お互いに理解しあえる関係を作っていきたいと思っています。そして、それは何らかの共同事業に携わったときにも、役に立つのではないでしょう。さらに、中国とは長い歴史の中で、政治



若い人も大いに異文化に触れてほしい
狭山市日中友好協会・理事長
八島藤夫さん (入間川在住)

オピニオン

安全な農作物を作り続けたい



落合茂雄さん
(中新田在住)

私は、農家の後継者として農業に従事するようになってから15年ほどになり、里芋やにんじん、ほうれんそうなどを作っています。今年は、狭山市農業青年会議所の代表も務め、これから研修会の実施や農業祭への参加、広報紙の発行、会員同士のレクリエーションといった行事を取りまとめていくことになります。

ところで、近年「地産地消」という言葉がよく使われるようになってきました。狭山市でも、給食などに地元で取れた農作物が使われていると思いますが、供給する側として、安全で、おいしいものを作らなければと心がけています。食育の観点から見ても、輸送コストや時間の面から見ても、安く新鮮な農作物が提供できるという大きなメリットがあり、市民の皆さんに「地産地消」の意識が高まってくれば、私たち農家も、安心して仕事に打ち込むことができます。

現在の日本の食料自給率は低下の一途をたどり、輸入に頼る割合が多くなっていますが、安心・安全な農作物の提供に努めていきますので、市民の皆さんには、地元の農作物の消費にご協力をお願いします。

担当 農政課

市の考え方

貴重なご意見をいただきありがとうございます。

消費者と生産者の顔が見える信頼関係を構築し、食への意識・理解を高めることは、食育の推進にもつながります。また、消費者は新鮮な農作物を入手でき、生産者も効率的な生産ができるようになることから、今後も、狭山で生産された安心・安全な農作物を、市民の皆さんに届ける活動を支援していきますので、よろしくをお願いします。

担当 農政課

皆さんの「声」をお待ちしています。お寄せいただく際は、住所、氏名、電話番号をご記入ください。☎2954 6262(代) ☒koho@city.sayama.saitama.jp

私の宝物 ...

家族で滑るのが今から楽しみ

私の宝物は、10年前に友人から譲り受けたスノーボードです。これは、滑りに誘ってくれた友人が使っていたもので、かなり使いこんではいましたが、初心者の私の練習には



広澤大介さん
(広瀬在住)



古くてもまだまだ活躍し続けています

ぴったりで、よく奥利根辺りに行きました。そんな20代のころの仲間との思い出のある宝物なので、古くなった今でも大切に保管しています。

最近、子どもが生まれるなど環境も大きく変わり、なかなか滑りに行けません。近い将来、子どもがスノーボードに興味を持ち始めたら、家族そろって滑りに行き、楽しい思い出をたくさん作りしたいと思います。

次回は入間川在住の方を紹介したいと思います。

Hello ハロー仲間たち

Vol.334



日韓友好親善の架け橋になろうと頑張っています

韓国語教室 カッチ

私たちの会は、5年前に有志が集まってできたサークルで、毎月3回、富士見公民館で活動しています。カッチとは韓国語で、「一緒に」という意味で、共に楽しく学びたいとの願いが込められています。

韓国語と日本語は、文法や語順に共通したものが多く、感情の持ち方や表現も似ているといわれますが、海を隔れた国同士なので相違点もたくさんあり、それを発見するのでもとても面白いものです。

授業では、韓国語講師からハングルの意味や書き方、発音などを学ぶほか、韓国の文化や生活習慣などにも触れています。また、会員同士で学習を助け合うチームティーチングも私たちの会の特徴です。授業終了後には懇親会に繰り出すことも多く、みんなとても仲良く活動しています。

私たちは、学習を通して韓国の人たちとの友好を深め合える市民サークルでありたいと思っています。皆さんも一緒に、韓国語や韓国の文化を学んでみませんか。

問合せ 栗原和子さんへ

2959 4640